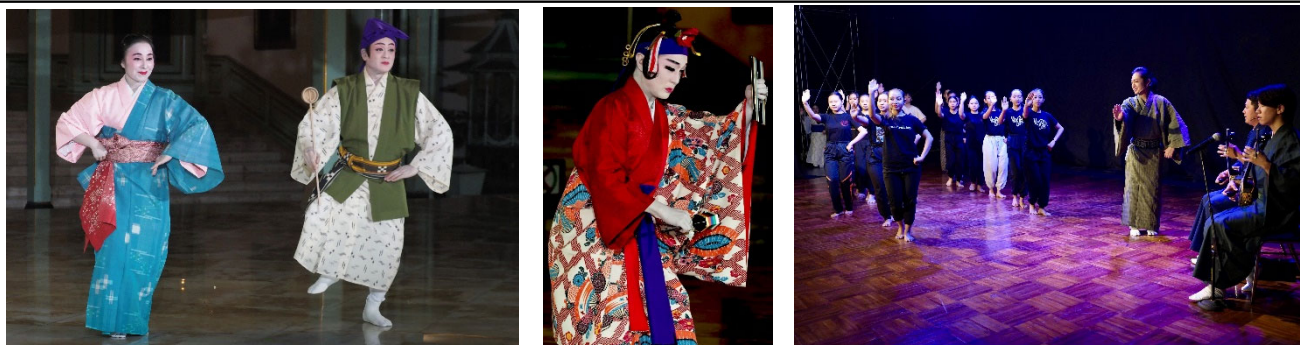


インドネシアで 1500 名の観客が琉球舞踊に魅了 二つの王朝文化による時空を超えた夢の競演が実現しました



© 2025 The Japan Foundation and Bumi Purnati Indonesia

国際交流基金（JF）は、国立劇場おきなわの芸術監督・金城真次氏を迎え、インドネシアのマンクヌガラ王宮（ソロ）での初の琉球舞踊公演を実施しました。

古都ソロに 18 世紀に創設されて以来、ジャワ文化・芸術の継承において重要な役割を果たしてきたマンクヌガラ王宮で、マンクヌゴロ 10 世王臨席のもと、初めて披露された琉球舞踊に、満員の観客は大いに魅了されました。

そして、インドネシア側からはマンクヌガラ王宮に受け継がれてきた優雅な古典舞踊と音楽が披露され、琉球王国で磨かれた琉球舞踊と夢の競演が実現しました。

なお、本公演は、JF が展開する日本の舞台芸術発信プロジェクト STAGE BEYOND BORDERS の一環として、2026 年 3 月に YouTube 国際交流基金公式チャンネルで配信予定です。

また、今回の訪問では、インドネシアを代表する総合芸術文化センター・Taman Ismail Marzuki（ジャカルタ）でも公演が行われました。そして、現地の芸術大学の学生や日本語学習者を対象にしたワークショップとレクチャーデモンストレーションが実施され、インドネシアの古典舞踊継承や日本との文化交流を担う次世代の若者たちが、双方の文化に触れ合い、将来的な活動の糧になることに期待されます。

金城真次氏のコメント

インドネシアの皆さんは沖縄の方に似た温かさと歓迎の心があり、とても距離が近く感じられました。マンクヌガラ王宮での公演は王宮のしっとりとした雰囲気の中、風がとても心地よく、舞台の明かりに浮かぶ踊りに新たな発見がありました。また王宮の音楽は、柔らかな歌の中にも強さがあり、胸に迫るものがあるところに沖縄の歌との共通点を感じました。一方、ジャカルタ公演では多くの若いお客様の熱気が舞台まで伝わり、古典舞踊から雑踊りまで全身で琉球舞踊を楽しんでいる様子が印象的でした。ワークショップでは学生たちが音楽を大切にし、一人ひとりが踊りを自分のものになっている姿に私たちも見習うところがありました。またインドネシアに来たいと思います。

マンクヌゴロ 10 世王のコメント

この公演は、琉球とジャワという 2 つの宮廷伝統文化の温かな出会いの場となりました。静と動、その中で私たちは多くの

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

ご報告

言葉を必要とせずとも、お互いを深く理解し合いました。

異なる土地で生まれながらも、どちらも根底には共通の価値観を有しています。それはすなわち、勤勉さ、調和、そして祖先たちへの敬意です。そこから私たちは、異なるということを相互理解の機会として捉えることを学ぶのです。

伝統というものは、つまり、ただ受け継がれていくだけのものではなく、継続して生き続け、成長し、私たちが前進していけるよう導いてくれるものなのです。

インドネシアの観客（現地で著名な舞踊家・振付家の Agus Margiyanto 氏）のコメント

今夜の沖縄とマングラワン王宮との公演を観ることができて、とても嬉しく思います。両者がそれぞれの伝統文化をしっかりと守りながら交流していたため、非常に魅力的なコラボレーションだと感じました。沖縄とソロの文化の間には、どこか惹かれるようなつながりがあると感じたため、個人的にはこのようなコラボレーションが今後も続いていくことを強く願っています。とても素晴らしい今夜の公演に心から感謝します。

ワークショップ参加者（インドネシア芸術大学スラカルタ校舞踊学科学生）のコメント

琉球舞踊のワークショップに参加できたこと、そして新しい知識を得る機会をいただけたことをとても嬉しく思っています。私たち舞踊専攻の仲間にとって、本日は、私達がこれまで慣れ親しんできたジャワ舞踊とは異なる動きや文化を教えていただくことができ、いつもとは違った雰囲気イベントとなりました。

また別の機会に再びお会いし、さらに長い時間をかけて知識を交換できることを願っています。



インドネシアでの公演とワークショップの画像と映像のご提供が可能です。

ご希望の際は、press@jpf.go.jp まで連絡ください。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

ご報告

事業名称：琉球舞踊インドネシア公演 ～海が結ぶ、王宮の舞～

主催：国際交流基金

共催：Bumi Purnati Indonesia

協力：マンクヌガラ王宮、在インドネシア日本国大使館、日本政府観光局（JNTO）

演出：金城真次（国立劇場おきなわ芸術監督）

監修：茂木仁史（国立劇場おきなわ・芸術学博士）

観客数：3公演合計 約 1500 名

ワークショップ・レクチャーデモンストレーション参加者数：3 回合計 約 180 名

【ソロ公演】

内容：インドネシア古典舞踊と音楽、琉球舞踊

開催日程：2025 年 7 月 23 日（水）19 時（西部インドネシア時間）

会場：マンクヌガラ王宮

出演者：金城真次、新垣悟、西村綾織、平田晴香、仲嶺夕理彩、山入端依莉

玉城和樹、仲嶺良盛、比嘉誠伍、亀井美音、堀川裕貴、中村優希

演目：「四つ竹」「総掛」「稲まづん」「前の浜」「若衆 ゼイ」「仲里節」「加那よー天川」「浜千鳥」

【ジャカルタ公演】

内容：琉球舞踊

開催日程：2025 年 7 月 25 日（金）20 時（西部インドネシア時間）

2025 年 7 月 26 日（土）16 時（西部インドネシア時間）

会場：グラハ・バクティ・ブダヤ劇場（Taman Ismail Marzuki 内）

出演者：金城真次、新垣悟、西村綾織、平田晴香、仲嶺夕理彩、山入端依莉

玉城和樹、仲嶺良盛、比嘉誠伍、亀井美音、堀川裕貴、中村優希

演目：「四つ竹」「稲まづん」「総掛」「ニオ ゼイ」

箏独奏「地菅攪」歌三線独唱「仲風節」

「浜千鳥」「加那よー天川」「汀間当」「鳩間節」「谷茶前」「黒島口説」

【ソロ ワークショップ・レクチャーデモンストレーション】

開催日程：2025 年 7 月 22 日（火）9 時（西部インドネシア時間）

会場：インドネシア国立芸術大学スラカルタ校

参加者：同校舞踊学科の学生

開催日程：2025 年 7 月 22 日（火）12 時 40 分（西部インドネシア時間）

会場：SMA Regina Pacis Surakarta（日本語パートナー受け入れ経験のある高校）

参加者：同校日本語クラブの生徒、国際科の生徒

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp

ご報告

【ジャカルタ ワークショップ】

開催日程：2025 年 7 月 25 日（金）13 時 30 分（西部インドネシア時間）

会場：グラハ・バクティ・ブダヤ劇場（Taman Ismail Marzuki 内）

参加者：ジャカルタ芸術大学の学生、舞踊家、U-maku Eisa Shinka Indonesia（インドネシアのエイサー団体）のメンバー等

金城真次 プロフィール

1987 年生まれ。国立劇場おきなわ芸術監督。

4 歳から玉城流扇寿会谷田嘉子・金城美枝子両家元入門。

玉城流扇寿会師範。沖縄県立芸術大学 舞台芸術専攻 琉球舞踊・組踊専修。国立劇場おきなわ組踊研修修了生（第 1 期生）。

県指定無形文化財「琉球歌劇」保持者。沖縄タイムス芸術選奨奨励賞受賞。琉球舞踊や組踊、沖縄芝居の立方を始め、沖縄芝居の演出など多岐に渡り活動する。



マンクヌガラ王宮について

マンクヌガラ王宮（Pura Mangkunegaran）は、1757 年にマンクヌゴロ 1 世王によって創設されたインドネシアの古都ソロに存在する 2 つの王家の 1 つです。

インドネシアの様々な文化を持つすべての人々に門戸を広く開き、インドネシア全土の文化の発展のため、重要な役割を果たしています。

国際交流基金からのお知らせ

舞台芸術情報サイト Performing Arts Network Japan

<https://performingarts.jpj.go.jp/>

多様性をもつ刺激的な日本の現代舞台芸術情報を海外に発信することを目的に、2004 年に JF が創刊した毎月更新の日英二言語によるウェブサイトです。また世界の舞台芸術シーンの動向にも注目し、国際交流の活性化を図ります。

ぜひ、ご覧ください。

SNS にて最新情報発信中！



[TheJapanfoundation](https://www.facebook.com/TheJapanFoundation)



[@thejapanfoundation](https://www.youtube.com/@thejapanfoundation)



[@japanfoundation](https://twitter.com/japanfoundation)



[@japanfoundation](https://www.instagram.com/japanfoundation)

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：福島、熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 E-mail: press@jpf.go.jp